

伐採地を活用 森づくり協定

鹿児島森林管理署と
霧島神宮など協議会

林業に関わる民間企業や猟友会、霧島神宮など5
者で構成する「かごしま持
続可能な次世代の杜協議
会」と鹿児島森林管理署

かごしま持続可能な次世代の杜 協定調印式



森林整備の協定書を結び記
念撮影をする協議会のメン
バーと鹿児島森林管理署の
代表者 〓霧島市霧島田口

は森林整備の協定を結ん
だ。協議会は霧島市霧島
田口の国有林伐採地に広葉
樹を植林し、遊歩道を整備
する。

霧島神宮の国宝指定記
念と自然保護が目的。高
級温泉旅館「星野リゾート

界 霧島」の周辺約2畝
にヤマザクラやイロハモ
ミジ、ヤブツバキを植え、
通年で花が楽しめるよう
にする。

森林保全に取り組みたい
企業などに国有林を提供す
る林野庁の「社会貢献の森」

制度を県内で初めて利用し
た。協定締結は8日。協議
会会長で迫田興産(伊佐市)
の迫田成満社長は「長年林
業に関わってきた集大成と
して、多くの人に癒やしを
与える場所になりたい」と話
した。
(菅雄祐)